

事業区分	文化芸術事業			育成・創造事業					
事業名	鳥取県青少年郷土芸能の祭典2014 一子々奮迅一								
目的・内容	<p>郷土芸能の伝承を主軸とし、次代へと継承している青少年による郷土芸能を取り上げ、「発掘」、「伝承」、「発信」、「交流」の4つの柱を持って事業を推進する。平成26年度の大規模公演においては、郷土芸能の「発信」、「交流」を目指し事業を推進する。</p> <p>また、青少年に大規模舞台への出演機会を提供することで、勇気と自信をもたらし、技術向上と意識啓発に繋げる。</p>								
開催日時	平成26年10月12日(日)								
会 場	倉吉未来中心 大ホール								
入場料 (友の会・団体)	一般 600円	友の会・団体 500円	高校生以下 無料						
集客状況	入場者数 615人	設定席数 1, 225席	集客率 50%						
事業費状況	予算額	収入 320, 000円	支出 5, 279, 591円	収支比率 6. 1%					
	決算額	収入 157, 800円	支出 4, 694, 594円	収支比率 3. 3%					
来場者・出演者 アンケート (主なもの)	<p>【来場者アンケート】回答率 24%、満足度 78%、新規顧客獲得率44%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感動しました。その地でしか見ることのできない伝統芸能をホールで楽しめるのでとても良い企画です。(女性・50代・倉吉市) ・子どもも若者もこんなにすばらしい演奏、演技ができることに驚きました。(女性・60代・米子市) ・芸能を青少年が代々受け継ぐため、地域の支えは大変重要なことですが、これまで続けてきたことがすばらしい。(男性・30代・倉吉市) ・有名なチームばかりで良かったと思う。もっとマイナーな芸能にもスポットをあててほしい。(男性・40歳代・鳥取市) ・高校生の芸を見て、かっこいいと思った中学生。中学生の芸を見て、自分もこうなりたいと思った小学生。こうやってどんどん伝わっていくのが伝統だと思った。(男性・20歳代・県外) ・ひとつひとつ発表がすばしく感動しましたが、幕間のコメントが長く感じられ、もう少し短くても良かったように思いました。全体の時間も伸びたので、時間通りに終わるようにしてほしかった。(女性・50代・倉吉市) <p>【出演者アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の団体の公演を見てとてもすごいと思った。自分たちが学ぶことがあったので、良い経験になりました。(倉吉農業高校) ・地域の芸能活動が盛り上がるよう活動したいと思います。(倉吉農業高校) ・頑張っている姿を学校の先生やたくさんのお客様にみてもらえてうれしかった。(打吹童子ばやし) ・私自身もやっていてとても楽しかった。自分の精一杯も他の方の精一杯も見られてよかったです。(岩井地区伝統文化子ども教室) ・このような大舞台でできる機会はなかなかないので、また出演したい。(米子白鳳高校) ・はく手をしてもらってうれしかったし、自分が演じることで見る人が笑顔になってくれたらうれしい。(山守小学校) 								
1次評価 (内部)	<p>【成 果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々練習に取り組む青少年に大きな舞台での発表の場を提供し、ステージで多くの拍手を得たことから自信と誇りが芽生えるとともに、郷土芸能を広く県民に発信することができた。また、アンケートからも、地域に伝わる郷土芸能の素晴らしさが再認識されたこと、公演企画が良かったという評価も得られたことは最も大きな成果であり、公演そのものの価値とその継続性を見出すことができた。 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年郷土芸能関係者や関係機関との連携を密にして事業推進していくとともに、引き続き現状の把握や、ニーズの調査にも努める必要がある。集客については、目先を変えた広報・販売促進に努める工夫をし、特に青少年の鑑賞者の拡大、そして支援者の拡大を目指す必要がある。 ・本番前の全体リハーサル時間が延び、開場時間が10分ほど遅れたことにより、アンケートに多くの意見が寄せられた。遅れた理由の十分な案内による対応が必要であった。 ・集客については、特に青少年の鑑賞者の拡大を目指していくために、目先を変えた広報・販売促進に努める工夫を考えたい。あわせて教育機関への働きかけや、クチコミ(出演する青少年からの働きかけ等)についても強化する必要があった。関係者などからは、郷土芸能の祭典の意識は高まりつつあるので、本公演を足掛かりとして、支援者の拡大を目指す手立てを考えていく必要性を感じる。 								
2次評価 (財団評議員)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子どもたちが郷土芸能を継承していくことはとても大切なことで、それを晴れの舞台としてステージを提供することは最も必要なことと、この事業に対し大いに賛同しています。 <p>出演団体が素人の団体だとしても、リハーサルが延びて開演時間が遅れることはとても残念に感じます。会館の質も問われることにつながります。アンケート用紙の回収が悪かったようですが、次につなげていくためにもしっかり回収していただきたいと思います。今後も続けていただきたい、大切な事業だと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・晴れの舞台に入場者が少ないとは、残念なことです。頑張っている子どもたちや団体に対し申し訳なくも感じます。少しでも沢山の人に観ていただくために会館の方も努力されていると思いますが、開催日を鳥取県の日とか、何かつながる祭事に結んで、心情が動くように大きさをもう一回り大きくしてみてはどうでしょうか。それと、青年経済団体などへの働きかけもされてみてはいかがでしょうか。小さな子どもを持つ親目線もあり、地域を守り育てたいという意識は高いと思います。 								
今後の対応、 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年～29年度に開催する東部・中部・西部の中規模公演、そして5年目(平成30年度)の大規模公演を見据えて、青少年郷土芸能関係者や関係機関との連携を密にして事業推進していく。また、関係者との意見交換により現状の把握や、ニーズの調査にも引き続き務める必要がある。一方、支援者としての鑑賞者の拡大も大きな課題である。出演・参加者の広報のみならず、広く一般県民への郷土芸能の魅力の伝達、継承することの重要性、伝承者の育成に対する認識や注目を高めていく工夫(戦略)が必要である。 								